

職場のつづきやきを大切にしたいですね



右から佐野書記次長、荻野書記次長、山道（やまじ）委員長、林田書記長、平佐副委員長、山口副委員長、丹野副委員長です

堺市職労 役員のみなさん

堺市は大阪府内2番目の政令指定都市。市政131年の歴史の町。古くから、貿易や文化が盛んで、自治都市としても有名です。今回は堺市職労の役員会議におじゃましました。

「都構想」を終わらせたい
そして住民のための議論へ

堺市は維新の市長になりましたが、市長選挙では「都構想は議論しない」と争点にしませんでした。しかし、もしも大阪府が廃止されれば、堺市も議会議決で特別区にすることが可能となるので、他人事ではありません。これまで58億円、前回は32億円も住民投票に使っています。「都構想」を早く終わらせ、住民のための議論がしたいですね。

職員体制の改善が
進んでいるところも

職員体制の改善では、進んでいるところもあります。生活保護の職場とか、子ども相談所職員などです。

前市長のときから「少しずつ」人員は増やしてきました。保育士



ただいま会議中です

も採用していますが、足りないという状況です。市の要員管理方針がかわりました。ギリギリまで職員を減らしてきたので、増員計画はありますが、削減の方向が弱まったということがあります。

職場訪問で組合員に頼り
新しい仲間が増えた

あらゆる場面で組合員の要求を実現することに力を入れ、組合員

拡大に結びつけたいです。今年はWebでも組合加入がありました。保育士も22人採用されました。いい仕事をするためにどうすればいいかという議論を重ねた結果、コロナ禍で歓迎会もできないので、職場訪問して職場の組合員にお誘いしてもらおうようにお願いしました。資料を小分けして職場に持って行き何回も訪問。お手紙をつけて、組合のことを知ってもらえるようにしました。2年目・3年目の人にも声をかけています。職場のつづきやきをもっと大切にしたい。本庁職場も何回も回りました。職場には、新採職員だけでなく他の組合員もいます。やっぱり職場に顔を出すことが大事ですね。

新しい役員が加わり
会議も明るく元気

支部の役員選挙が7月にありました。そこで若手が2人になりました。このことで会議が明るくなり、いろんな話やアイデアが出てきます。やっぱり若い力は偉大だなと実感しています（笑）。

心ひとつに 住民投票に勝利しよう

大阪市をなくすな



集会フィナーレ ゲストと参加者がエール交換



大画面に映し出された8つのサテライト会場

11・1住民投票
大阪市廃止
反対

「大阪市をよくする会」と「明るい民主大阪府政をつくる会」は10月1日、大阪市中央公会堂（中之島）をメイン会場に府内9会場と結ぶネットワーク集会を開催しました。

集会には、立場をこえて「大阪市なくすな！」の心ひとつでつながった多彩なゲストがスピーチ。また、中山徹氏（奈良女子大学教授）は「都構想」の否決で維新の暴走にブレーキをかけ、大阪再生への展望を開くため「広範な共同を築き、大阪を救うため、反対の世論を広げよう」と呼びかけました。（2面に関連記事）